

○療育センターの管理運営委託料 9,391万5,000円

(概要) 放課後等デイサービス、児童発達支援、保育所等訪問支援などを主な事業とする療育センターに対する管理運営委託料を計上するもの。

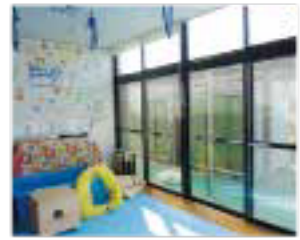
質疑

管理運営委託料は第1療育センターの分だけか。また、管理運営委託に当たっては、どのような手法を取っているか。

答弁

管理運営委託料は、現在運営中の第1療育センターと、10月に開所予定の第2療育センターを含めた予算額である。

第1療育センターは、指定管理者制度を利用し、鈴鹿市社会福祉協議会に委託している。第2療育センターについても指定管理者制度を想定しているが、指定管理者の選定は4月以降である。



第1療育センター

産業建設分科会

議案第1号 平成31年度鈴鹿市一般会計予算

○新名神スマートインター関連事業費 17万8,000円

(概要) 新名神高速道路鈴鹿PAスマートインターチェンジの利用向上に向け、関係機関や関係団体などとの意見交換や協議、PRを行う経費を計上するもの。

質疑

新名神スマートインターに関し、どのようなPRを計画しているか。また、関係機関や関係団体などとの意見交換や協議はどのように実施するのか。

答弁

PRについては、新名神高速道路開通のお知らせを掲載したティッシュなどを作成し、配布する予定である。また、意見交換や協議については、市内各組織の代表者を構成員とする協議会で、スマートインターチェンジの利活用の状況について検証する予定である。



○西部地域・南部地域 C-BUS 運行事業費 1億5,666万円

(概要) 本市の独自の交通システムとして、西部地域・南部地域のニーズ、または需要の規模に応じたコミュニティバス事業を実施し、高齢者や学生といった移動制約者に対して移送サービスを提供する費用を計上するもの。

質疑

2019年度に実施予定の交通系ICカードの導入について、導入予定時期はいつか。また、どのような種類の交通系ICカードが使用可能となるのか。

答弁

公共交通会議の同意が得られれば、ICカードは2019年10月1日から使用可能となる予定である。また、三重交通のemica(エミカ)だけでなく、Suica(スイカ)やmanaca(マナカ)など全国的に使用されているほとんどの交通系ICカードが使用できる予定である。